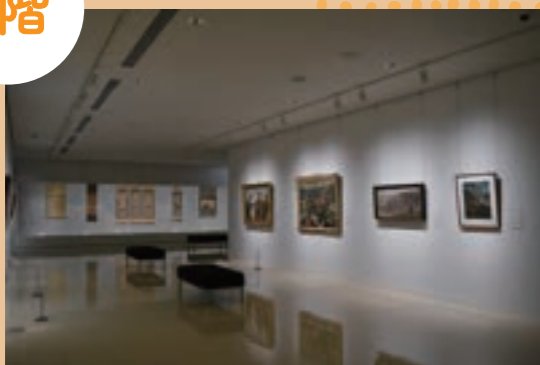


● 館内スペース紹介 ●

5階



常設展示室

千葉市美術館の3つの収集方針（近世から近代の日本絵画・版画、1945年以降の現代美術、千葉市を中心とした房総ゆかりの作品）に沿って収集されたコレクション約10,000点から、それぞれのハイライトを展示しています。

5階



ワークショップルーム（みんなでつくるスタジオ）

ワークショップをはじめ、パフォーマンスや講演会など、さまざまなニーズに対応できるスタジオです。「みる・しる・できるびじゅつプログラム」では、集合場所や体験型プログラムを行う会場として利用します。

4階



子どもアトリエ（つくりかけラボ）

アーティストを招き、参加型・体験型のインスタレーション（空間全体を使った作品）を制作・展示するスペースです。訪れた人々との関わりによって空間がつねに変化し続ける、クリエイティブな「つくりかけ」を楽しむことができます。

4階



図書室（びじゅつライブラリー）

絵本や児童書など、子どもが楽しめる本を中心に、美術にまつわる本約4,500冊を配架する図書室です。美術館での学びを後押しする場として、美術への興味を刺激する本を数多くそろえています。

千葉市美術館

開室時間：10時～18時（金・土曜日は10時～20時）
休館日・休室日は毎月第1・3月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始
〒260-0013 千葉市中央区中央 3-10-8
TEL:043-221-2311

お申し込みはこちらから



千葉市美術館

2025年度
鑑賞教育プログラム

みる

しる

できる

びじゅつプログラム

「みる・しる・できるびじゅつプログラム」は、学校団体向けのプログラムです。「鑑賞」「表現」「体験」の3つの要素を軸にしたプログラムから任意のプログラム選び、各学校の児童・生徒たちの様子や、学習進度にあわせた多様な鑑賞教育を実現することができます。

プログラムリスト

基本のプログラムと選択プログラムの中から組み合わせるか、または、単独プログラムのどちらか1つを選んで実施します。

- 子どもたちの興味・関心、学習の進度にあわせて、プログラムをお選びください。
- 対象や内容をよくご確認のうえお選びください。
* 参加人数により、2グループに分け、入れ替え制をとります。
- 美術館ウェブページのフォームからお申し込みください。
<https://www.ccma-net.jp/learn/educational-coordination/see-know-achive/>



基本のプログラム

おしゃべりグループ鑑賞

場所 常設展示室 (5F)
時間 20～30分
対象 小学校3年生～

内容
鑑賞リーダー（美術館ボランティア）と一緒に、対話をしながらグループで鑑賞する。

※右の選択プログラムの1つと
組み合わせて実施をします。

選択プログラム

わたしの美術館

場所 ワークショップルーム (5F)
時間 20～30分
対象 全学年
内容

千葉市美術館所蔵品のアートカードを使い、鑑賞のヒントとなるゲームやアクティビティを行う。

さわれる美術館

場所 ワークショップルーム (5F)
時間 20～30分
対象 小学校3年生～
内容

日本画や油彩画の材料や用具をそろえた特製の画材キットを実際にさわってみる。

アートの生まれるばしょ

場所 子どもアトリエ (4F)
時間 20～30分
対象 全学年
内容

参加型・体験型のアート作品（つくりかけ）ラボを鑑賞、体験する。

のびのび自由鑑賞

場所 展示室（常設または企画）
時間 20～30分
対象 小学校4年生～
内容

ワークシート（学校作成）をもとに、個人で鑑賞する。

単独プログラム

美術館探検隊

場所 美術館全体
時間 30分～60分
対象 全学年
内容 展示室や図書室、さや堂ホールなどをグループで探検する。

びじゅつトーク!

場所 ワークショップルーム (5F)
時間 50～60分
対象 中学生～
内容 鑑賞後にディスカッションを行い、自分の見方や感じ方を言葉で表現する。

美術部に
オススメ!

それぞれのプログラムでこんな体験ができます

はじめての美術館をたのしもう!

美術館探検隊

【内容】
「美術館へ行くのははじめて」という子どもたちにぴったりのプログラムです。グループで館内を探検しながら、発見したことをみんなで共有します。自らの気づきを大切にしつつ、楽しみながら美術館という場所を知ることができます。



多様な表現にふれよう

アートの生まれるばしょ

【内容】
対話型のグループ鑑賞と、参加型・体験型のアート作品を通じ、多様な美術表現に触れることができるプログラムです。さまざまなかたちの美術を知ること、美術の幅広さや豊かさを体感することができます。



写真：東原倫

美術を多角的に楽しもう

さわれる美術館

【内容】
作品そのものだけでなく、作品を構成する材料や用具にまで目を向けることで、美術のおもしろさをより感じられるプログラムです。知識が鑑賞を深め、多角的に美術を楽しむことができます。



所蔵品をきっかけに美術に親しもう

わたしの美術館

【内容】
アートカードをつかったアクティビティを通して、気軽に楽しく美術に親しむことができます。常設展示室の鑑賞とあわせることで、千葉市美術館のコレクションをより身近に感じることができるプログラムです。



※写真は全てイメージです